

発行所 〒160-0017
東京都新宿区左門町11番地6の101
社団法人 大学婦人協会
電話 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
E-mail: jauw@tky2.3web.ne.jp
発行人 今井 けい
編集責任者 松本 佳子

J A U W

おもな記事

- 1 面 第48回通常総会議事録
- 2 面 会日支長・理事・監事・事務報告
- 3 面 5 面 事業報告・事業計画
- 4 面 6 面 守田科学奨励賞論文概要、国際奨励賞、国際奨励賞、国際奨励賞、国際奨励賞、国際奨励賞
- 5 面 7 面 学術奨励賞、国内奨励賞、特別奨励賞
- 6 面 2004年度決算報告、2005年度予算

第48回通常総会特集

国内奨学金資金設立募金スタート

浜風と桜満開の横浜で、通常総会が開催された。全国から100人が参加。白熱した討議のすえ、「国内奨学金資金設立」のための募金活動を可決、「名称変更」は継続し検討されることになった。

社団法人 大学婦人協会 第48回通常総会議事録

日時 二〇〇五年四月一〇日(日) 9時～16時30分
場所 横浜プリンスホテル 「綾の間」
出席者 横濱プリンスホテル 九〇名 委任状 七二五名
計 九一五名

出席支部 札幌・秋田・仙台・福島・新潟・茨城
栃木・長野・東京・神奈川・静岡・愛知・岐阜・金沢・福井・京都・奈良・大阪・神戸・岡山・広島・大分・熊本
福岡・長崎 以上25支部
小樽・函館・群馬・山口・愛媛・高知 以上7支部
鹿儿島

開会の辞 会長 今井 けい
逝去会員7名のご冥福を祈って一同起立、黙禱。
議長承認
定款第5章第29条による

り、今井けい会長が議長となる。承認
書記選出 承認
本部 承認
山瀬 恵子・伊藤めぐみ 承認

1. 総務 承認
書記 遠藤 理枝
「2004年度事業報告」承認。
2. 委員会 各委員長承認。
「2004年度事業報告」承認。
3. 国庫補助事業(大学婦人協会全国セミナー) 承認
企画委員長 田中 正子
2004年度国庫補助事業「全国セミナー」の視点から「平和・平等・教育の視座から」は、20005年度事業「日本・中東女性交流」につなげることを念頭に置き企画された。これらの成果を決議文と要望書にまとめた。政府の方針で国庫補助

という形の支援が2004年度で廃止となり、従来の全国セミナーは行えなくなった。1985年2年より始まった全国セミナーは大きな意義があった。一つは総会の他に全国の会員が集まる唯一のチャンス、もう一つは大学婦人協会自身が何をなすべきかを毎年再確認する良いチャンスであったと思う。それが完全になくなることは大学婦人協会としての活動の推進力が削がれる。今のところの予定では2年に1度くらいの割合で行ってはとの暗黙の申し合わせがある。今年度は「日本・中東女性交流」につなげていきたい。

4. 支部 各支部長承認。
「2004年度事業報告」承認。
西村寿美子・神奈川支部長より支部長懇談会報告を本総会において行いたいとの提案があり、総会次第の変更(支部長懇談会)の追加。

5. 会計 承認
(1) 一般会計 承認
2004年度収支決算並びに資産状況
市川知恵子
「2004年度決算報告」収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、支部別会費状況」承認。
(2) 特別会計 承認
市川知恵子
「平成16年度国庫補助事業特別会計収支決算報告」承認。

6. 監事報告 承認
静間 敏子
五十嵐康子監事とも事業監査を行い、「IFUWの年会費値上げ」の減少などの厳しい財政状況の中、各委員会の努力の結果収支のバランスがとれたこと。②本協会の大きな事業である奨学金・奨励賞を優秀な学生・研究者に授与できたこと。③本部・支部が協力のもと最後の全国セ

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

未来志向のJAUW 二〇〇五年全国総会を終えて

今年が美しい満開の桜と、どの部屋からも海が見渡せる横浜プリンスホテルで総会を開催することができました。その10日ほど前に、約10年間争われてきた「男女差別賃金」裁判で住友金属工業の女性4人が勝訴し、緩慢ながら、日本でも平等社会に向けての前進を実感できる時でした。
こうした社会情勢とも相まって、JAUWの総会でも活発な討議が展開されました。それらは次の3点にまとめられるでしょう。
第一は、本部と支部との連携の強化を求める支部長会議からの要請です。理事会記録やホームページ等電子媒体の活用、全国セミナー(2005年度は日本・中東女性交流)への参加、奨学金制度の見直し、会報の活用など、協会内の「婦人」はすでに時代にそぐわ



会長 今井 けい

しかし、若い会員の増加のためにもJAUWの会費値上げは極力避けたいところだ。むしろご寄付で「国内奨学金資金」を創設し、そこから奨学金を贈呈することにご賛同いただきたいです。
第三は、「定款(名称)変更」手続き開始のための提案でした。大学婦人協会の「婦人」はすでに時代にそぐわ

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。



第48回通常総会 横浜プリンスホテル「綾の間」にて(2005年4月10日)

監査報告

監事 五十嵐康子
4月5日、本部事務所において静間敏子監事とともに、社団法人大学婦人協会2004年度一般会計の監査を行った結果、領収書・帳簿・通帳等関係書類は全て正しい記録されており間違いのないことを認めここに報告する。
3月22日、本部事務所において静間敏子監事とともに平成16年度国庫補助

審議

総会次第変更(「役員理事欠員補充について」の追加)について議長は承認を求めた。承認
1. 役員理事欠員補充につ

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

「若い人」たちが違和感をもたない呼称は何か、との視点を、今後とも大切にしていきたいものです。
以上、3点とも、若い会員を増やし、JAUWを活性化するのに不可欠なものばかりです。
今回はとくに「国内奨学金資金」設立のために、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

日本・中東女性交流に期待するもの

副会長 田中正子

大学婦人協会は、今年度、国連N.G.O国内婦人委員会が毎年主催している日本・中東女性交流を担当団体として引き受けることになっている。

この交流は、外務省の提案で1996年に始まった国連N.G.O国内婦人委員会と、ヨルダン、エジプト、パレスチナの女性団体との相互交流で、これまで、国連N.G.O国内婦人委員会加盟の10団体が順に担当し、大学婦人協会が初回に続き2回目の担当となる。10団体がそれぞれの専門性を活かして10年近くも日本とは全く異なる文化圏の女性たちの交流が続いていることは大変意義深い。

秋に日本から訪問団が、これらの国・地域(最近では現地の政情の関係で2国)を訪問し、年が明けた2月に先方から女性たちが数名が来るとは、承認可決された。国内奨学金資金設立に伴う会費収入予測、収入推移、2006年度事業見直し、運用資金から見た年間収支差額予測、2006年度運用資金から見た収支計算見直しについて。

「国内奨学金資金設立について」の経緯とJ.A.U.Wの財政状況について説明(柳原副会長より)

(1)国内奨学金資金設立に関するアンケート

2004年12月、国内奨学金資金設立のための募集金について各支部にアンケートを行った。

回答数 24支部(賛成20支部、反対3支部、保留1支部)

(2)J.A.U.W財政状況の説明(パワポイント使用)

「2003年度収入内訳」

2003年度事業費内訳、2003年度管理費内訳、運用資金から見た収入のバラつきを低くしたい。募集金の詳細(募集額、方法・文言等)については今後検討を重ねるとともに、健全財政と事業見直しに厳しく対処したい。

「2005年度収入内訳」

書案・4月1日～10日までの「みなし収入・支出」参照。

(1)2005年度大学婦人協会予算案

(2)2005年度4月1日～10日までの「みなし収入・支出」による運用について

議長は、(1)・(2)について承認を議場に諮ったところ、承認可決された。

(案)を取る。

(3)2006年度の「みなし収入・支出」及び「予算案」を2005年度内に理事会及び持ち回り評議員会で承認を得た後、2006年3月31日まで文科科学省に提出することについて

議長は、(3)について承認を議場に諮ったところ、承認可決された。

これは、約1週間滞在中の交流を深めることになっている。滞在中の交流プログラムについては、詳細はこれからだが、東京と岡山市で公開シンポジウムを行う予定である。

交流のテーマについては、理事会で提案し、国連N.G.O国内婦人委員会と検討した結果、「文化の多様性とジェンダー平等」とする予定である。

今年は世界の女性たちにとって北京10年にあたる上、日本にとっては女性参政権60周年、均等法20周年にあたるなど、女性にとっては節目の年である。

ジェンダーと言っても国・地域によってその意味合いはさまざま。それぞれの国・地域でのジェンダーの主流化がどこまで実現できたのか、障害要因は何かを、その背景にある文化・宗教を含めて交流の中で共有できれば一層の相互理解が進む、こんなすばらしいことはないと思う。

大学婦人協会には、これまでの全国セミナーの蓄積があり、特にこの数年はジェンダー平等について重点的に取り上げ、各支部から様々な課題が報告されている。各支部が公開シンポジウムに参加され、これらの蓄積を踏まえて、日本の状況について報告していただければ、シンポジウムでの討論が深まること期待される。近いうちに企画委員会を発足させ、シンポジウムの概要を検討する予定である。

また滞在中に日本の伝統文化や、日常生活・習慣にも触れてもらう機会を作ることで、日本をトータルに理解してもらいたいと考えている。この点でも、各支部の国際交流の経験が活かされ、期待している。ご協力をお願いしたい。

草の根の国際交流である。肩ひじはらずに、親密な雰囲気でお互い理解を深めることで、新たな目が開かれれば、すばらしいことである。

単位・方法・文言等)に

「国内奨学金資金設立に賛同する」を希望する支部の募集状況について、2004年12月のアンケートの結果、賛成20支部、反対3支部、保留1支部であった。この結果は、回答数24支部中、21支部が賛成、1支部が反対、2支部が保留であった。

議長は、国内奨学金資金設立のための募集事業について採決を求めた。賛成86、反対12、棄権62、有効委員75通(今井副会長、委員69、議長委員35、個人委員31)であった。

議長は、国内奨学金資金設立のための募集事業について採決を求めた。賛成86、反対12、棄権62、有効委員75通(今井副会長、委員69、議長委員35、個人委員31)であった。

「国内奨学金資金設立」の経緯とJ.A.U.Wの財政状況について説明(柳原副会長より)

(1)国内奨学金資金設立に関するアンケート

2004年12月、国内奨学金資金設立のための募集金について各支部にアンケートを行った。

回答数 24支部(賛成20支部、反対3支部、保留1支部)

(2)J.A.U.W財政状況の説明(パワポイント使用)

「2003年度収入内訳」

2003年度事業費内訳、2003年度管理費内訳、運用資金から見た収入のバラつきを低くしたい。募集金の詳細(募集額、方法・文言等)については今後検討を重ねるとともに、健全財政と事業見直しに厳しく対処したい。

第48回通常総会開催支部報告

1年前の京都からこの1子会員よりあり、東京支部を待ちかねていたかの部と岡山支部が中心になりに、咲き誇った桜の下、前日9日の懇親会は再会される喜びの音があちらこちらで聞こえ、販売常設会が開催されました。

午前9時、出席者188名で賑やかに開会の辞が述べられ、総会次第に沿って進められました。前日行われた支部長懇談会の内容を「全員で協議するべきである」という全支部長の要望を入れ、懇談会の報告を急遽午前部の最後に入れたのは今年度が初めてのことです。

野面委員長からIFUWWの報告があり、若くして青木怜子前IFUWW会長と房野桂前IFUWW副会長の尽力を称え、会長の地位委員会委員に、長年のご尽力を称え、会員の感謝の気持ちを込めて、花束の贈呈が行われました。

審議する議題が多く、時間が止まっていてはしんどいと思われている中、最後までもご参加下さった皆様に感謝し、来年秋田で総会が交わされ、総会は閉会となりました。

総会終了後、18年2月中旬に行われる中東女性交流についての説明が田中正子副会長と江尻美穂副会長より行われました。

支部長名簿(2005年度)

支部名	氏名	出身校
小樽	藤田 洋子	東北女大
札幌	野又紀美子	奈女大
函館	湊 則子	桐音大
秋田	渋谷由美子	福島名大
仙台	荻原ノリ子	古屋大
新潟	鈴木 裕美	大阪学大
茨城	牧野惠美子	津大
栃木	糸井 克	神奈川大
群馬	石出 りえ	津大
長野	徳田 節子	日女大
東京	佐々木澄子	東女大
神奈川	西村寿美子	日女大
静岡	大塚佐枝美	奈女大
愛知	福永 和子	同志社大
岐阜	松井 恵美	津大
富山	安原 和子	日女大
福井	山田 由美	武庫女大
京都	松田 栄子	大女大
奈良	関川 千尋	奈女大
大阪	江崎 淳子	金沢大
神戸	三木谷節子	神戸大
岡山	岡崎 優子	岡山・京大
広島	山手万知子	広島大
山口	松岡 静子	日女大
愛媛	媛知	熊本福女大
高知	井野邊陽子	熊本福女大
大分	大堂喜三子	福女大
熊本	福本美恵子	福女大
福岡	福本美恵子	福女大
長崎	平野 啓子	日女大
鹿児島	鹿嶋	鹿嶋

理事・監事名簿(2005年度)

役職名	氏名	出身校
会長	今井 けい	津・法院
副会長	田中 正子	茶聖・CU院
副会長	柳原由美子	聖・CU院
書記	繩田眞紀子	奈女大
書記	岩田 玲子	武蔵音大
計	市川知恵子	実女大
計	小坂 順子	日女大
務	大森たへ子	日女大
国内奨学	鷲見八重子	津・院
国際奨学	阿部 幸子	茶・院
科学研究奨励	平川 暁子	東京・院
国際	梶田 信子	京都
国内N.G.O	松比呂節子	京都・院
教育	牧島悠美子	茶大
女性の地位	増淵 民子	津大
社会福祉	林 千代	日女・院
広報	松本 佳子	茶大
役員	三浦由紀子	奈女大
情報	福田 満代	奈女大
東京支部	佐々木澄子	東女大
監事	静間 敏子	神女大
監事	五十嵐康子	津大

本部委員会新任委員

財 務 岩田 玲子 遠藤 理枝

国内奨学 松嶋由紀子 冠木 敦子

国際奨学 中村 昌美

科学研究奨励 片山 倫子

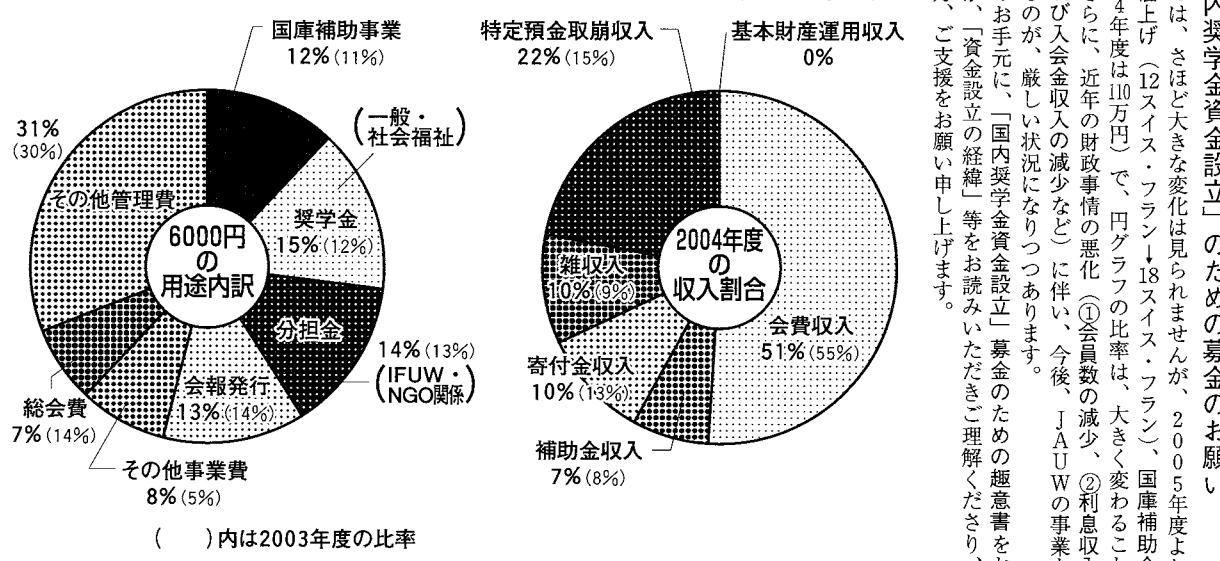
国際奨学 磯川 芳子

国内N.G.O 海老原典子 岡部 道子

小谷野錦子 田辺 光子

橋本 慶子 藤森 洵子

あなたの本部会費(6,000円)はこのように使われています(2004年度)



JAUWには、上記奨学金のほかに、別会計として、国際奨学金・安井医学奨学金、そして科学研究奨励賞があります。

女性の地位委員会 増沢民子

事業報告(2004年度) 12回。
●委員会 9回、他に随時Eメール会議。
10月 全国セミナーで研究発表。
「自治体の男女平等政策とバックラッシュ」現状と課題
12月 府中市男女共同参画推進フォーラムで、全国セミナーでの研究発表を講演。
●国際人権規約完全実施促進連絡会議関係
●要望書検討会議・学習会

社会福祉委員会 林千代

事業報告(2004年度) 10/23 選考委員会で大学院生1名・学部生1名を選出。
●社会福祉に関する学習会(3回)
「社会福祉とは何か」11月 選考結果を通知。
「社会福祉と高齢者」11/8 「新春のつどい」で奨学金贈呈式。受賞者(大学院生)1名出席。
「希望をもって老後へ」の住まいを考える
●社会福祉奨学生の募集と選考
●各大学・各支部宛に募集要項を発送。応募者:大学院生4名、学部生5名

広報委員会 松本佳子

事業報告(2004年度) ●会報「JAUW」発行(4回)
●本年度の当協会の事業と活動の報告などを編集し、会員と関係諸機関に発送。
●「全国セミナー報告書」作成と発送に、全面的に協力。
●事業計画(2005年度) 会報「JAUW」(218号)発行予定。
●21号(6頁)2005年発行、各支部宛送付。
●24号(10頁)6月25日発行、各支部宛送付。
●25号(4頁)11月20日発行、各会員宛送付。
●26号(6頁)2005年発行、各支部宛送付。

役員委員会 三浦由紀子

事業報告(2004年度) 1. 会員の現状把握。
●役員委員会の点検、管理、名簿の打ち出し。各支部宛会費名簿を送付。
●2. 会費納入の推進。
●未納者一覧を各支部に。
●3. 会員の増強
●「仲間の輪」を広げよう」のチラシを各支部長宛発送。

情報委員会 福田満代

事業報告(2004年度) 在13支部開設。
1. 委員会・委員研修会開催(8月、1月)。
2. M.L.により理事会報告・意見交換実施。
3. M.L.により支部長・支部情報担当委員に理事会報告・セミナー企画委員報告。
4. JAUWホームページ刷新・随時更新・支部ホームページ開設支援(現大)。
5. 協会カレンダー作成。



第48回通常総会会場風景 前列は各支部長

支部報告

※各支部の通常総会・全国セミナー出席の報告は省略します。
●札幌支部 橋本 素子
●仙台支部 洪谷由美子
●新潟支部 登坂美江子
●長野支部 三田 コト
●東京支部 佐々木澄子
●神奈川支部 西村寿美子

函館支部 野又紀美子

事業報告(2004年度) 9名
●支部総会(5/29)
●例会 3回
●函館市の高齢化問題の現状、特に施設やサービスについて具体的に学習することを計画。
●「函館市における自治体や民間の施設、サービスの現状について」
●支部総会(5月)
●例会(7、9、11月)
●新年懇親会(1月)
●まとめと反省(3月)

秋田支部 湊 則子

事業報告(2004年度) 21名
●支部総会(6/5)
●国内奨学生候補者の推薦
●秋田大学、経済法科大学、県立大学へ推薦依頼。
●第49回通常総会開催受諾と準備。
●実行委員会準備会設立、会員への協力要請など。
●研修会
●「老後資産の考え方」
●支部会報第13号発行(3月)
●新年会 本部からの募金と名称変更に関するアンケートに回答。
●他団体との活動・交流
●桜楓会主催講演会。
●金融広報委員会
●ボランティア政策懇話会

福島支部 萩原ノリ子

事業報告(2004年度) 2名
●支部総会(毎月)
●ジェンダーフリーと混合名簿研究会など。
●全国セミナー参加・発表
●「平和構築に向けての教育の役割」日本憲法と条約から
●「地方自治体と子ども施策」全国自治体シンポジウム 2004 in 多治見」に出席。全国セミナーの追跡研究として「子ども虐待問題の母親の対応について」をまとめる。
●支部総会(4/12)
●定例会、研究会(毎月)
●反省会(3月)
●見学会、講演会聴講など。

茨城支部 牧野恵美子

事業報告(2004年度) 67名
●支部総会(4/24)
●特別講話「こころに残ったタンザニア滞在記」定例会
●「地方自治体と子ども施策」全国自治体シンポジウム 2004 in 多治見」に出席。全国セミナーの追跡研究として「子ども虐待問題の母親の対応について」をまとめる。
●支部総会(4/12)
●定例会、研究会(毎月)
●反省会(3月)
●見学会、講演会聴講など。

群馬支部 植原 映子

事業報告(2004年度) 9名
●支部総会(6月)
●支部奨学賞贈呈(11月)
●新年会(2月)
●役員会(年4/5回)

長野支部 三田 コト

事業報告(2004年度) 13名
●支部総会(6/5)
●「高齢者の生き方から学ぶ」(9、3月)
●新年会・情報交換会
●役員会開催 4回
●他団体との活動・交流
●国際婦人教育振興会主催のセミナー(参加画(12月))
●事業計画(2005年度)
1. 支部総会(6月)
2. 「高齢者の生き方から学ぶ」の継続。
3. 研修会
4. 見学会(高齢者の生活の場をたずねて)。
5. 他団体との交流。

新潟支部 登坂美江子

事業報告(2004年度) 83名
●支部総会(4/24)
●支部総会(4/24)
●「1年生議員の国会議事堂かけ歩き」西村智奈美(今、国連で世界の女性問題と北朝鮮の拉致問題)「野野村桂(6月)ドキュメンタリー映画「プロミス」(7月)「西アジアから生まれた宗教と文化」(9月)

仙台支部 洪谷由美子

事業報告(2004年度) 32名
●支部総会(6/15)
●「中国ウイグル自治区旅行報告」
●例会

東京支部 佐々木澄子

事業報告(2004年度) 47名
●支部総会(4/17)
●記念講演「女性記者走る―男性型メディアの限界に挑んで」竹信三恵子氏
●「ともしび」発行 2回
●講演会・見学会
●「一葉とジェンダー」初期作品を中心に「(5月)「アマガミ」見たまま聞いたまま」(7月)「UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と難民問題」(9月)「イサドラ・ダンカンと多角的知性」(12月)
●第4回自然科学講演会(科学奨励委員会と共催)「物質世界の多様性について―分子の形と運動―」
●「中東女性交流とNGO活動」その発展過程と今(3月)
●「旧岩崎邸」見学(6月)
●奨学金関連事業
●守田科学奨励賞贈呈式(5月)
●国内奨学金贈呈式(奨学金の一部として10万円寄付)(1月)
●国際奨学生報告会「マンガリカ氏(2月)」
●その他
●委員会 毎月
●その他
●バザー開催
●サークル活動英語講座、源氏物語を読む会I、II、楽しい俳句会、フラワーデザイン)
●対外活動
●「源氏物語を読む会I、II」より本部へ各2万円。国連難民高等弁務官事務所へ5万円。バザー収益金より財務委員会へ5万円寄付。
●事業計画(2005年度)
1. 支部総会(4/16)「少子高齢化社会と女性問題」一番ヶ瀬康子氏
2. 講演会 竹中千春氏(5月)
3. 見学会 旧日本館と金庫(6月)
4. 委員会およびサークル活動(前年度に準ずる)
5. その他は支部総会後の委員会決定。

栃木支部 糸井 克

事業報告(2004年度) 37名
●支部総会(6/19)
●支部奨学賞贈呈(11月)
●受賞者(県内の高校を卒業した女子で、人物・学業共に優れた者)
●新年会
●役員会 4回
●支部総会(2005年度)
●支部総会(6月)
●支部奨学賞贈呈(11月)
●新年会(2月)
●役員会(年4/5回)

神奈川支部 西村寿美子

事業報告(2004年度) 41名
●支部総会(2004年度)
●第48回通常総会開催を引き受ける。
●支部総会(5/15)
●講演「ワーキング・マザー」という戦略」 榎原裕美氏(奨学生)
●講演会(6月)
●「グローバルに21世紀を生きる―平和・平等・教育の視点から」 田中副会長
●国内奨学生候補者の推薦
●第48回通常総会準備会(12月)
●その他
●支部総会(9回)
●例会(9回)
●支部総会(9回)
●例会(9回)
●支部総会(9回)
●例会(9回)

静岡支部 大塚佐枝美

事業報告(2004年度) 65名
●支部総会(2004年度)
●支部総会(4/10)
●通常総会の会計報告および反省会。
●講演会 高井東子氏(奨学金受賞者)
●講演会 かながわ女性会議代表 沖藤典子氏(7月)
●「かながわ女性フォーラムinかながわ」に参加(11月)
●例会(9回)
●支部総会(9回)
●支部総会(9回)
●例会(9回)

見学会・講演会
・浜名湖花博見学(6月)
・「お笑いジェンダー論」
少子高齢社会を考へる(12月)「イラクを理解するために」(2月)講演「切つても切れない絆」
映画「わが故郷の歌」
奨学生候補者の推薦
男女共同参画の日県民フエスタに参加(7月)
その他
役員会(7回)
支部便り発行(6回)
・楽寿の園奉仕(毎月1回)
△他団体との活動・交流
・静岡県女性総合センター
・シャブラニール市民による海外協力の会「発展途上国女性の支援(開発教育)」
・ORCHID-NEPAL支援
事業計画(2005年度)
1. 支部総会(4月)

愛知支部

福永 和子
会員数 59名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(4/18)
講演「ルル・ホームズと日本の女子高等教育」JAUW(大学婦人協会)を中心に「林恭子会員」例会
・「裁判員制度を考へる」裁判員ドラマ「決めるのはあなた」(5月)
・「癌にたいする最新疼痛緩和治療について」(6月)
・「生殖医療技術と人間のいのち」キリスト教倫理の視点から(7月)
・「介護保険にケアマネージャーとして携わって」(9月)
・「自分の専攻分野と将来の希望について」(2月)
・「社会福祉奨学生 東谷瞳氏(三重大学)」
「平安期かな文学研究とその国際交流」
△全国セミナーで発表。「大学における女性リーダーの役割をめぐって」歴史の考察の中から「パソコン教室」4回
・親睦旅行(11月)
・新年会
事業計画(2005年度)
支部総会(4/24)

岐阜支部

松井 恵美
会員数 11名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(5/1)
・研修会(10月)
「岐阜市の男女共同参画の現状と今後の取り組み」杉山智子会員(岐阜市男女共同参画室長)
・親睦昼食会(3月)
・支部だより発行(5月)
その他
・岐阜市の男女共同参画計画冊子を本部へ送付。
事業計画(2005年度)
1. 支部総会(5月)
2. 研修会(11月)
3. 親睦昼食会(3月)

金沢支部

安原 和子
会員数 39名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(7/4)
・研究会「利久百首を中心」山村福子会員(4月)
「壁面に見る中世からルネサンスへの変革」(10月)
Welcome Dinner(11月)
講演会「インドへの招待」
・仏教と芸術の遺跡」
・チャリティー茶会
・寄付金「石川県肢体不自由児協会」「石川県手をつなぐ育成会」「KJIS基金」へ。
・奨学金「ドワン・ブラティープ財団(タイ・パノック)」(3月)
・役員会(8回)
△他団体との活動・交流
・環日本海国際学術交流協会講演会に参加(11月)
・金沢国際交流団体連絡会事業計画(2005年度)
1. 見学会「モンゴルの住居ゲルを訪ねて」モンゴルのインディ・日本の出会「草原の国モンゴルの風土と生活」(6月)
2. 支部総会

福井支部

山田 由美
会員数 8名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(4/24)



懇親会で、下野昇さん(テナー)と宇治田さん(ピアノ)

京都支部

廣田 輝子
会員数 60名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(4/17)
講演会「痛とつき合う」
・「アファニスタンの留学生が語る」アファニスタンの過去と現在(6月)
主催：五女子大学コンソーシアム、奈良女子大学、学・アファニスタン女子教育支援のための女性教員研修実施委員会
・国内奨学生候補者の推薦(9月)
△全国セミナーで研究発表「ムスリムの女子に対する家庭教育」アファニスタンと中国・新疆ウイグル自治区を例に(12月)
・「日本人の笑い」茂山千三郎師天蔵流狂言(11月)
・「人間生活とエネルギー」(3月)
・国内奨学生候補者の推薦
1. 支部総会(4月)

奈良支部

岩崎 雅美
会員数 52名
支部会費 1000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(4/17)
講演会「痛とつき合う」
・「アファニスタンの留学生が語る」アファニスタンの過去と現在(6月)
主催：五女子大学コンソーシアム、奈良女子大学、学・アファニスタン女子教育支援のための女性教員研修実施委員会
・国内奨学生候補者の推薦(9月)
△全国セミナーで研究発表「ムスリムの女子に対する家庭教育」アファニスタンと中国・新疆ウイグル自治区を例に(12月)
・「日本人の笑い」茂山千三郎師天蔵流狂言(11月)
・「人間生活とエネルギー」(3月)
・国内奨学生候補者の推薦
1. 支部総会(4月)

神戶支部

八尾 佳子
会員数 130名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(4/24)
講演会「震災から10年 非常時のメディア」住田功一氏(NHKアナウンサー)(5月)
「IFUWとJAUW」
青木裕子氏(6月)
「先端医療と生命倫理」少子化の家庭問題と社会問題(7月)
「ホトケ?ほつておけ」オランダ人が見る日本の先住祭祀(9月)
「パスチャー」京都城南宮・伏見・京田辺一休寺を訪ねて(11月)
「花たちの感性」(12月)

岡山支部

早津 聡子
会員数 65名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(4/25)
講演「男女共同参画推進副部長として」高田武子会員(岡山市収入役)
例会 4回
ウイズエンパワメント講座(主催：岡山県男女共同参画推進センター)

広島支部

山手万知子
会員数 27名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(5/22)
例会 2回
講演「アサーションって何?」(財)広島県女性会(6月)
講演「女性研究者の立場から考える」三恵美氏(広島県立大学助手、科学研究奨励賞受賞者)ハイキング「秋の牛田山を歩こう」(11月)
・新年会
△他団体との活動・交流
・広島県女性会議、広島県の女性の地位向上と社会参画を進める会、広島市女性教育センター、女性団体グループ連絡会、広島県・市電話相談事業計画(2005年度)
1. 支部役員会・支部総会(4/5月)

熊本支部

武宮 公子
会員数 20名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(4/25)
・ネパールへ奨学金送金
△他団体との活動・交流
・あいち女性祭り参加(10月)・博多座鑑賞会(他支部との交流)(4月)
事業計画(2005年度)
1. 支部総会(5月)

山口支部

松岡 静子
会員数 10名
支部会費 1000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(4/24)
・NO2による大気汚染測定(2回)
・研修「西アジアの女性の生活」
事業計画(2005年度)
1. 支部総会(4/24)
2. 例会(2回)
3. NO2による大気汚染測定(2回)

高知支部

柏田 知子
会員数 20名
支部会費 3000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(5/15)
卓話「ライオンズクラブと私」井野邊陽子会員
・IFUW総会出席
・工場見学(11月)
・国際交流・講演会「わが祖国」モンゴル(2月)
・「クラルテ」発行(3月)
・役員会(毎月)
・「源氏物語」講座
△他団体との活動・交流
・大分県女性の団体活動推進会議出席(6月)、アイネスフェスタ参加(11月)
事業計画(2005年度)
1. 支部総会(5月)
2. 男女共同参画社会の実現に向けて取り組む。
3. 異文化理解に努め、アジア、欧米諸国との交流に他機関と協力。
4. 会員の拡大。

愛媛支部

福本美恵子
会員数 38名
支部会費 2000円
事業報告(2004年度)
・支部総会(5/15)
講演会「博多とお茶」
講演会「日本の安全保障と我が人生訓」(6月)
・「日本料理とてなしの心」(8月)
・「駐在員として見た不思議な鹿島支部」(11月)
行事

大分支部

鹿児島支部
・宮崎観光とクルージング(10月)
・新年会(国際交流)とミニバザー(1月)
・IFUW総会報告と反省会(3月)
・ネパールへ奨学金送金
△他団体との活動・交流
・あいち女性祭り参加(10月)・博多座鑑賞会(他支部との交流)(4月)
事業計画(2005年度)
1. 支部総会(5月)

《理事会から》

●「国内奨学金資金設立」募金の趣意書を全会員に送付。皆様のご協力をお願いいたします。
●2005年度若手会員育成金による研究会は、「女性とコミュニケーション」(広島支部・石井三恵代表、前年度から継続)に決定。
●2004年度寄付者(敬称略、2万円以上)
鈴木行子 匿名希望 2名
源氏物語を読む会IとII(東京支部)
山口みづ子様(国連NGO国内婦人委員会事務局長・財市川房枝記念会常務理事)
ほか、多くの方からご寄付いただきました。ありがとうございました。
●JAUWのホームページをぜひご覧ください。
http://www.jauw.org

少数粒子系普遍的計算法の確立と ストレンジネス核物理への応用

奈良女子大学理学部物理科学科助教授
肥山 詠美子 (原子核物理学)



守田科学
研究奨励
賞受賞者
論文概要

筆者は、「無限小変位ガウス・ロープ法」という独創的な解法を発見し、具体的計算法を提唱した。そして、これまでに、さまざまな原子核の分野へ幅広く適用し、3体・4体問題を精密に解くことによって、初めて得られる新しい物理的知見を数々明らかにしてきた。中でも、ハイペロンを含む原子核である、ハイパー核物理分野への貢献は大きい。ハイパー核とは、陽子・中性子とその仲間である重粒子、ハイペロンとで構成される新しい原子核のことである。

原子核物理分野の最近の話題の一つは、中性子星の内部構造の研究である。星は、超新星爆発をした後、中性子星か、ブラックホールになることが知られている。この中性子星の内部は、主に大量の中性子と少量のハイペロンも含まれていることが指摘されている。この中性子星の内部の構造を明らかにするためには、未だよく分かっていないハイペロン-核子間の相互作用の決定が必要不可欠となる。そこで、現在、この相互作用の研究のために、原子核にハイペロンを入れたハイパー核の構造研究が、実験・理論の両面から行われている。

筆者は、上述の「無限小変位ガウス・ロープ法」をフル活用し、3体・4体問題の観点から、さまざまなハイパー核の構造の研究を行い、ハイペロン-核子間相互作用の決定に重要な役割を担ってきた。2008年に大強度陽子加速器が、高エネルギー加速器研究機構と日本原子力研究所で建設中である(J-PRACプロジェクト)。このプロジェクトの一つが、多くの未発見ハイパー核の生成である。今後の、筆者の理論の発展と、ハイペロン-核子間相互作用の研究発展、そして、中性子星の内部構造解明が明らかにされるが大いに期待される。

哺乳類細胞における 細胞質分裂の分子機構の解明

Temasek生命科学研究所細胞生物学研究室室長
シンガポール国立大学理学部生命科学科併任助教授
堀 麻 希 (細胞生物学)

細胞分裂の最後の過程である細胞質分裂は、細胞増殖に必須であり、染色体や細胞小器官を2つの娘細胞に均等に分配するという重要な役割を担っている。高等植物を除き、細胞質分裂の際には、分裂面に「収縮環」と呼ばれるアクチン繊維を主成分として構成されるリング状の構造が形成される。収縮環では、アクチン繊維と、モータータンパク質であるミオシンIIが相互作用することによって、細胞にくびれ(分裂溝)が生じ、細胞が分裂すると考えられている。分裂(収縮環の収縮)の誘導には、微細管から構成される紡錘体、特に分裂期後期の紡錘体が重要であることが明らかにされてきた。ところが、紡錘体がどのようにして細胞質分裂を誘導するのかについては長い間不明であった。

我々は、細胞質分裂に必要なことが示唆されていたクロモソームバクセンジャーと呼ばれるタンパク質のひとつであるオーロラBキナーゼに着目し、その細胞分裂期における詳細な動態及び機能について、生細胞を用いたイメージング、顕微鏡操作、及び生物物理学的手法等を用いて解析を行った。他の研究者の研究報告と考え合わせ、我々は、オーロラBキナーゼが紡錘体のある特定の微細管を安定化し、それら安定化された微細管が分裂の誘導を行うことを示唆した。

しかし、これら安定化した微細管がどのようにして分裂を誘導、つまり分裂面のアクチン繊維に収縮の開始を促すのかは未だ明らかにされておらず、解明されねばならない重要な課題である。細胞質分裂は、時間的空間的に厳密に制御されているため、固定した細胞を用いた実験では、得られる情報は限られてしまう。よって、生きている細胞を用いた解析が望まれる。

我々は、顕微鏡を用いたイメージングや培養細胞、特に分裂期の細胞の顕微鏡操作など、生細胞を用いた解析を得意としている。今後は、これらの技術と分子生物学及び生化学等の技術を組み合わせることにより、細胞質分裂誘導開始の分子メカニズムを明らかにしていきたい。

《国際奨学生報告会》

平茸のコンポストに寄生する 線虫の調査研究



マンガリカ・プリヤンティさん(スリランカ)

マンガリカさんは5年前、スリランカ国立大学農学部を卒業し就職した研究センターで、平茸栽培に使われる堆肥中の線虫研究を、農家の人達の要請に応えて開始しました。この分野で佐賀大学修士課程に留学(文科省奨学生)、続いて鹿児島大学連合大学院博士課程に進学(私費)、今年は東京農工大に移り学位論文を書く予定です。2月21日、東京支部と国際奨

学委員会の主催で、昼食会に続き、今までの研究の報告をされました。2002~3年、現地での線虫の寄生実態の統計的調査と、採集した線虫の種別分離・培養をしました。その線虫たち(正式輸入許可済)と鹿児島大学へ。研究者は少なく、日本線虫学会会員は250人余。マンガリカさんが参加した。この分野で佐賀大学日本人の院生たちが英語で話す機会が増え、喜ばれているようです。キノコ菌糸につくバクテリアを食べて育つ線虫の体長は大きくて数百マイクロメートル、顕微鏡で識別される十数種に、

<国際委員会> だより

「平和の文化国際10年」をご存じですか

正式名称は、「世界の子どものための平和と非暴力の文化国際10年」。この冬のこと、IFUWの女性の地位委員のメヤーさんから「国連への報告書にまとめるので、各協会が平和のために取り組んでいることを知らせて」というメールが入りました。正直ピンと来ないまま3月になり、再度の呼びかけ。そこでまわりの方に相談しながら、教育委員会の「留学生と日本文化を学ぶ会」と茨城支部の「男女共同参画・出前講座」について書き送りました。それが今、メヤーさんの手でまとめられ、インターネット上で誰でも読めるようになっています。http://decade-culture-of-peace.org (information board のなかの Equality between Women and Men に)

報告書を出すことが、人々の平和を願う気持ちを、国連総会での議論に反映させ、残る5年の機運をさらに高めることになるとのこと。無知だった私も、IFUWとの双方向のやり取りを通じて大きな目的の一助になれたのかな、と素直に喜んでいました。

同様に、「平和構築へ女性の参加を促す国連決議1325」については、パース大会での決議第9号との関連で取り組まれているので、各支部の関連事業などを、国際委員会まで、お知らせ下さいませんか。

ケニオンIFUW会長も自ら、ニューヨークの国連CSW会議やパリのユネスコを訪問し、意見を書き、私どもとのやりとりを求めています。ホームページ上の日本語抄訳と原文へのリンクを、どうぞクリックして下さい。

国際委員長 穂田 信子

支部 だより

愛知支部長 福 永 和 子

愛知支部は1946年の高年齢化と会員数の減少(昭和21年) 大学婦人協が悩みの種ですが、若手会設立と同年に発足、59会員を中心一致団結してさまざまな活動をしてきました。4月24日(日)の支部総会にはIFUW前会長の青木怜子先生を10年ぶりに愛知にお招きし、「リーダーシップとは?」という題で講演いただきました。その折、大阪支部からも8名、一般の方18名の参加があり、支部会員



青木怜子先生(前列右から3人目)を囲んで。

の支部総会にはIFUW前会長の青木怜子先生を10年ぶりに愛知にお招きし、「リーダーシップとは?」という題で講演いただきました。その折、大阪支部からも8名、一般の方18名の参加があり、支部会員

を含めて60名ほどが先生の経験豊かなお話を熱心に拝聴。リーダーの資質とは「皆の半歩先を歩き、自分をコントロール出来る人」というお言葉に納得しました。夜の懇親会には23名が参加、おいしいフランス料理に舌鼓をうち、翌25日は開催中の愛・地球博に6名が同行、人気のトヨタグループ館でのロボットの音楽会やダンス、永久凍土から出土した2万5千年前のマンモスの展示を観て一日楽しめました。26日には徳川美術館を観望しました。気さくな先生のお人柄に接し、楽しい思い出を共有することが出来ました。愛知支部の活動として参加しようと思いが切っています。

新入会員 (19名) 2005年3月~6月 (理事会承認)

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| 札幌支部 | 川岸 雅子 (藤) | 中間 美砂子 (茶・専) | 樋田 夏江 (奈女) |
| 仙台支部 | 草刈 美雪 (上智) | 松嶋 由紀子 (津・一橋院) | 神奈川支部 |
| 松山 寿美子 (宮学女) | 田辺 光子 (京都) | 京都支部 | 竹内 佳代 (同女) |
| 茨城支部 | 長田 満江 (新潟) | 真下 美弥子 (立命・院) | 神戸支部 |
| 東京支部 | 巖川 芳子 (日女・東工院) | 青木 六子 (佐賀) | 永田 信子 (静岡) |
| 大竹 麻衣子 (東外・津院) | 片山 倫子 (茶・院) | 広島支部 | 一 二 三 恵美 (工博(九州)) |
| 久保田 紀久枝 (茶・院) | 熊坂 弘子 (昭葉・慶) | | |
| 小 館 和子 (日女) | | | |

会報218号は経費削減のための試行として、従来の10ページを8ページに短縮しています(広報委員会)

第8回大学婦人協会守田科学研究奨励賞

受賞候補者募集要項

趣旨：本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満（応募締切日現在）の女性科学者を対象としています。

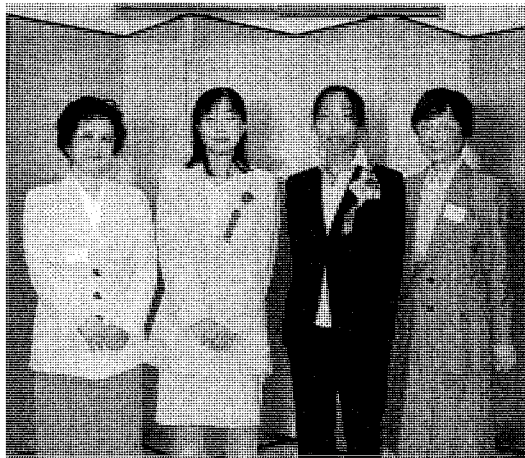
授賞件数：年2件以内

賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類：1. 推薦状 2. 履歴書(写真添付) 3. 研究業績リスト 4. 主要な論文別刷 5. 研究題目とその概要および今後の展望と抱負を記したものを(A4版2頁以内)

応募締切日：2005年11月30日(水) (必着)

書類送付先および連絡先：社団法人 大学婦人協会 〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6の101 TEL：03-3358-2882 FAX：03-3358-2889



守田科学研究奨励賞贈呈式 左から今井会長、肥山博士、堀博士、平川委員長 5月7日

その後、日本学術振興会特別研究員・理化学研究所基礎科学特別研究員・高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所助手を経て、2004年4月から奈良女子大学理学部助教として研究と教育に取り組んでいる。堀博士は、1989年に山口大学理学部生物学科を卒業、就職して研究実務を経験した後、北海道大学大学院理学研究科生命科学専攻の博士後期課程に入学、1997年に博士(理学)の学位を受けた。その後、日本学術振興会特別研究員・広島大学大学院理学研究科助手・米國マサチューセッツ大学医学部生理学部博士研究員を経て、2003年10月からシンガポールのテマセク生命科学研究所細胞生物学研究室長として研究に取り組んでいる。同時にシンガポール国立大学理学部生命科学科の助教として教育の任に当たっている。

お二人の研究はそれぞれ、自然界の現象の基本的な課題に取り組むもので、優れた成果を得るのには容易ではないが、肥山博士は普遍的な計算方法を確立することにより、堀博士は独自の実験方法を

第7回大学婦人協会守田科学研究奨励賞贈呈式

科学研究奨励委員会委員長 平川 暁子

第7回守田科学研究奨励賞の贈呈式が、5月7日にアルカディア市ヶ谷で行われた。受賞者は、奈良女子大学理学部助教の肥山詠美子博士(原子核物理学)と、シンガポールテマセク生命科学研究所細胞生物学研究室長・同国立大学理学部併任助教の堀麻希博士(細胞生物学)である。式後、肥山博士による「3

その後、日本学術振興会特別研究員・理化学研究所基礎科学特別研究員・高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所助手を経て、2004年4月から奈良女子大学理学部助教として研究と教育に取り組んでいる。堀博士は、1989年に山口大学理学部生物学科を卒業、就職して研究実務を経験した後、北海道大学大学院理学研究科生命科学専攻の博士後期課程に入学、1997年に博士(理学)の学位を受けた。その後、日本学術振興会特別研究員・広島大学大学院理学研究科助手・米國マサチューセッツ大学医学部生理学部博士研究員を経て、2003年10月からシンガポールのテマセク生命科学研究所細胞生物学研究室長として研究に取り組んでいる。同時にシンガポール国立大学理学部生命科学科の助教として教育の任に当たっている。

を開拓することにより、各分野の課題の解明に貢献しており、将来の更なる発展が期待される。当日は、受賞者の恩師・共同研究者多数が出席され、昨年の受賞者2名と多数の会員諸師のご参加を得て、出席者70名余の盛会であった。

〈第6回受賞者の近況〉

贈呈式には、前年度に受賞した二二三恵美博士と深澤倫子博士が揃ってご出席。肥山博士と堀博士に花束を贈呈して、会場に彩りを添えました。今年、二二三博士は県立広島大学生命環境学部助教に、深澤博士は明治大学工学部助教に昇任され、研究と教育に、多忙な毎日をお過ごしです。

また、前年度、深澤博士は茨城支部で、二二三博士は広島で講演し、多数の会員が参加しました。お二人とも、JAUWの新しい若い会員です。(広報)

2005年度 大学婦人協会国内奨学生募集要項

I 応募資格

- 一般奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に1年以上在籍する女子学生で、人物・学業ともに優れた者。なお、一般奨学生のうち女性、教育、国際協力に関する研究をしている学生1名は、本協会の設立に寄与されたルル・ホームズ奨学生と呼ぶ。
社会福祉奨学生 文部科学省の認可する大学(短期大学を除く)の学部・大学院に在籍する女子学生で、身体に障害があり、かつ人物・学業ともに優れた者。
安井医学奨学生 医学、薬学、看護学などを専攻する大学院に2年以上在籍する女子の大学院生で、人物・学業ともに優れた者。なお、本協会の会員であるか、または授与の時までに会員になること。

II 奨学金支給額(年額)及び募集人員

- 一般奨学生 大学院生 1名につき 20万円 6名(ホームズ奨学生を含む)
社会福祉奨学生 学部生 1名につき 10万円 学部生、大学院生あわせて3名
大学院生 1名につき 20万円 以下とする。
安井医学奨学生 大学院生 1名につき 30万円 1名

III 提出書類

- (1) 履歴書(市販B4版のもの、写真貼付、自筆のこと)
(2) 大学婦人協会所定の奨学金交付調書(記入者は在学する大学の学長・学部長・学科長・指導教員のいずれかであること)
(3) 在学する大学の交付する学業成績証明書
(4) 小論文(下記のそれぞれの課題を1200字[A4判 横書 40字×30行]以内にまとめること)
一般奨学生(大学院生)および社会福祉奨学生：
大学院生 修士論文または博士論文の計画と将来の希望について
学部生 自分の専攻分野と将来の希望について
安井医学奨学生：修士論文または博士論文の計画と将来の展望について

IV 応募手続

応募者は、必要書類を所属大学の学長に提出すること(原則として1大学1名とする)。

V 出願締切日

2005年9月9日(金)までに、東京都・千葉県・埼玉県及び沖縄県の大学は本協会本部に、その他地域の大学は当該支部に書類を提出すること(当日消印有効)。

VI その他

- (1) 贈呈式は2006年1月初旬の予定(詳細は後日通知する)。
(2) 不明の点については本部に照会のこと。

社団法人 大学婦人協会
会長 今井 けい
国内奨学委員長 鷲見 八重子
社会福祉委員長 林 千代
〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6の101
TEL 03-3358-2882 FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
e-mail: jauw@tky2.3web.ne.jp

平成16年度国庫補助事業

特別会計収支決算報告

特別会計：大森たへ子 市川知恵子 小坂順子 (単位：円)

Table with columns for Income (収入) and Expenses (支出), including sub-headers for Budgeted (予算額), Actual (決算額), and Remarks (備考). It details various financial items like grants, travel, and salaries.

○監査報告 監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録され、間違いのないことを認めます。

平成17年3月22日

監事 静間 敏子 五十嵐 康子



Bausch & Lomb

いつまでも、見つめ続けるチカラを。

〈オキュバイト〉は ビタミン、ミネラル、さらにルテインが バランスよく配合されたサプリメントです。

Ocuvite オキュバイト



保健機能食品(栄養機能食品) / 内容量:90粒

〈オキュバイト〉に関するお問い合わせは

0120-098148 http://www.ocuvite.jp

ボウロム・ジャパン株式会社

2004年度 社団法人 大学婦人協会収支決算報告書及び貸借対照表

収 支 計 算 書

(2004年4月1日から2005年3月31日まで)

(単位:円)

貸 借 対 照 表

2005年3月31日現在

(単位:円)

(単位:円)

Main financial statement table with columns for Budget, Actual, Difference, and Remarks for Income, Expenses, and Balance Sheet.

○監査報告 監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録されており間違いのないことを認めます。

平成17年4月5日

監事 静間 敏子 五十嵐 康子

2005年度 社団法人 大学婦人協会収支予算書

(2005年4月1日から2006年3月31日まで)

(単位:円)

Budget statement table with columns for Budget, Previous Year Budget, Change, and Remarks for Income, Expenses, and Balance Sheet.